

地域経済

大学研究者ら60人参加

組込みソフト
ウエア開発技研 技術セミナー開催

【豊橋】組込みソフトウエア開発技術研究会(会長＝高田広章名古屋大学大学院情報科学研究科教授、事務局＝サイエ

の最前線: T-EngineとユビキタスID」写真」を開催した。同研究会は、企業が独自に取り組む「組み込みソフトウェア」の開発について、三河地区を中心とした愛知・静岡県下の産学共同で、開発技術の水準を上げていくことを目的としている。組み込みソフトウェアとは、機械・機器に組み込まれてそれらを制御するコンピュータ・システムのことを指す。セミナーには、会員である大学研究者や企業開発担当者など約六十人が参加。越塚登東京大学情報基盤センター助教授と松居彰パーソナルメディア取締役開発本部長が「ユビキタスコンピュータ環境の実現にむけてT-EngineとユビキタスIDの概要と実践」のテーマで講演した。

